

令和7年度 高野山こども園 評価委員会報告書

第1回評価委員会

日 時： 令和7年9月17日（水） 午前10時～

場 所： 高野山こども園 遊戯室

議 題： 令和7年度高野山こども園の概要と運営方針について

出席評価委員： 高野町副町長 南木 芳亮様

高野町議会厚生建設常任委員会 委員長 大谷 保幸 様

学識経験者 元社会福祉法人桃郷統括園長 藪本 弘子 様

学識経験者 元和歌山県義務教育課幼児教育アドバイザー 守安 みね子 様

小・中学校長 寺阪 多江 様

高野山こども園保護者会 会長 中 敦史 様

高野山こども園保護者会 副会長 楠 泰誠 様

他出席者：高野町役場こども園担当：介護福祉課長 尾家 和代 様

第2回評価委員会

日 時： 令和8年3月10日（火） 午前10時～

場 所： 高野山こども園 遊戯室

議 題： 令和7年度の取組と保護者アンケートの結果について

令和7年度評価について

出席評価委員： 高野町副町長 南木 芳亮様

高野町議会厚生建設常任委員会 副委員長 菊谷 元様

学識経験者 元社会福祉法人桃郷統括園長 藪本 弘子様

学識経験者 元和歌山県義務教育課幼児教育アドバイザー 守安 みね子 様

小・中学校長 寺阪 多江 様

高野山こども園保護者会 会長 中 敦史 様

他出席者：高野町役場こども園担当：介護福祉課長 尾家 和代 様

【令和7年度評価の公表について】

令和8年3月10日（火）に第2回評価委員会を開催し、7名の評価委員の方々から評価をいただきましたので公表いたします。

1. 教育目標・重点目標の設定について（評価する 7名、評価しない0名）
 - ・高野山で生まれ育つ子どもとして「明るく 豊かに たくましく」を保育目標に掲げ、宗教都市高野山らしくも大切に、はっきりとめざす子ども像が確立しているように思う。
 - ・各年齢に合わせて目標設定がなされている。また、高野山の伝統、文化を大切にしたい取組も良い。
 - ・子どもの育成を具体的にいろんな領域から総合的に計画がたてられていた。
 - ・園としての目標を設定し、年齢に応じた保育目標を掲げ、さらに各年齢での年間目標を明確に設定できている点、わかりやすい目標設定になっている。
2. 目標や計画の達成状況について（評価する 7名、評価しない0名）
 - ・子どもたちに笑顔があふれ、園が楽しい雰囲気があり、保育の目標や保育計画が達成しつつあると思われる。
 - ・全職員で全園児のことを気にかけており、小規模の良さを活かして保育が実践されている。
 - ・高野山こども園の子ども達を”全職員でみていこう”との考えのもと全職員が目標や計画をもって、子ども達に寄り添ってこられたのだろうと思われる。
 - ・保護者アンケートでは、ほぼすべての項目において肯定的回答が8割を超えており、日頃の先生方の丁寧な教育活動の結果であると思われる。
3. 取組の適切さについて（評価する 7名、評価しない0名）
 - ・高野山の自然や文化を活かした保育、地域との関りや交流、教職員のスキルアップ、小中学校との連携など取組がされている。
 - ・保護者・地域との協力体制も確立し、保護者アンケートなどにおいても良い環境が得られている。
 - ・今年度は、フリー参観と子育てサロンを新しく開催し、取組が広がってきている。
 - ・保護者と連絡帳でのやりとりをとおしてきめ細やかに取り組まれている。
 - ・新しい施設を活かした小学校との連携、地域との交流等もよく取り組まれている。
 - ・前年度の気づきや反省をもとに新たな取組をされていると思う。
 - ・お別れ会の準備をする5歳児の様子を見学した際には、年少の園児の様子を想像しながらセリフを考え、物品を整えるなど卒園に向けて、また、小学入学に向けて十分な心身の発達の様子が伝わってきた。
4. 保護者アンケート結果について（評価する 7名、評価しない0名）
 - ・アンケート回収率が今年度93%、4年前より20%上昇し、保護者の関心の高まりを示してい

る。保護者も園に対して好意的に感じており、園との信頼関係も強くなっていると思われる。

- ・年々保護者アンケートの結果が良くなっている。園長先生たちの感謝の声も多い。
- ・アンケート結果から園に対する保護者の方々の良い評価がうかがえる。
- ・保護者の記述回答に園からの記載もあり、たいへんわかりやすく、1年間の保育活動の様子、保護者との連携の様子が伝わるアンケート結果になっている。

5. 次年度に向けての改善方策

- ・園児の教育・保育の内容については、申し分ありません。教職員の研修に力を入れ、小、中学校との連携をより一層深めてもらいたい。
- ・次年度、園児の数が10人程度減ること、1クラスの人数が6名程度であれば、異年齢に活動を増やし、集団活動を展開してほしい。内容等に工夫が必要であり、職員間での研修・話し合い等、丁寧に対応してほしい。
- ・保護者の視点からすると、園に入って初年度の年に事前に知りたかった情報があったように思う。(遠足のおやつのことや雪遊びのことなど)このようなことは、先生に直接聞けばわかるのだが、初年度は聞くことすら思いつきにくい。そのような意見が毎年、保護者からあるので、園日より、すぐーる、しおりの他にも園から発信方法があればいいと思う。
- ・次年度人数が少なくなるとのこと、異年齢児保育や人数が少ないから楽しめること、身に付けられることなど、高野山こども園であんな楽しい保育をしてるんだという保育をしてもらいたい。
- ・高野山でしかできない経験をもっと、子ども達にさせてあげられるような取組を期待する。
- ・今年度の取組で、子ども達の成長につながるものを、次年度も引き続き継続されることで、改善(よりよいもの)になっていくと考える。

6. 総評

- ・より高みを目指して頑張ってもらいたい。
- ・近隣の園や小学校との交流により、子どもたちが普段と異なる空気感を共有することは、大変意義のある取組だと感じた。また、「学びの杜」の一貫性を視野に入れた保育環境や交流・連携も重要であると考えている。今後も子どもたちの健やかな成長につながる環境づくりにご尽力いただくようお願いしたい。
- ・まず一年間安全安心の保育に対する労をねぎらいたい。園長をはじめ職員が協力し、子どもを中心にすえた保育、地域や小中学校との連携など活動の工夫が見られる。活動を見学すると子どもたちが元気で生き生きした表情で園生活を楽しんでおり、職員も子どもたちに寄り添い、丁寧な保育を実施している様子がよく見られる。来年度は、園児数が減り、1クラスが4~6名と少なく、クラス活動、他のクラスとの異年齢活動など、より一層の工夫が必要となる。研修など保育の質の向上に努力してもらいたい。
- ・毎年、適切に目標をさだめて、よりよい園になるように努めていると感じられる。その結果は、保護者アンケートにあらわれている。
- ・園の職員がひとつになって子どもを育成し、ふりかえり、又、多様な方法で実践し、より良い質の高い保育を前年度同様努力してもらいたい。

・いつもよりよいこども園づくりのためにご尽力いただき感謝する。これからもよろしくお願ひしたい。

・小中学校の中庭やグラウンドでの子ども達の活動の様子を目にし、先生方の丁寧なご指導を感じている。今後もこども園、小学校、中学校の連携で子ども達の成長を支援していくことを大切に考えているのでよろしくお願ひしたい。